

## 開催要項

1 名称 「最上地域空き家活用フォーラム ～新しいライフスタイルと地域の未来を考える～」

### 2 趣旨・目的

日本全体で進む人口減少と少子高齢化により、空き家の増加が地域の衰退を招くことが懸念されています。この課題に対し、空き家を活用して地域に活気を取り戻す取り組みを共有し、解決策を模索する場として本フォーラムを開催します。

新型コロナの影響でリモートワークが急速に普及し、暮らし方や働き方の自由度が高まる中、最上地域の豊かな自然環境や田園風景を活かした「田舎暮らし」の新たな可能性を探求します。

さらに、最上地域の持つ特色や価値を再発見し、移住や二地域居住の提案、空き家を活用した災害時の一時避難住宅など、現代の多様なニーズに応える活用方法を考察します。

このフォーラムでは、空き家の発生を抑えつつ、地域活性化の新しいアプローチを示し、参加者が次のステップへと進むための実用的なヒントを提供します。

### 3 開催日時・会場

令和7年2月7日（金）14時～ 東北農林専門職大学講堂（新庄市角沢1366）

### 4 内容等

(1) 共催 山形県、一般社団法人温故知新、最上地域空き家活用促進協議会

(2) 内容

① 挨拶

② 記念講演 「地域力を高める二地域居住のすすめ」 40分

講師 国土交通省国土政策局地方政策課地域づくり活動推進官 酒井達朗 氏（予定）

趣旨 二地域居住を促進するための改正広域的地域活性化基盤整備法の背景と内容、地方への新たな人の流れの創出に係る国土交通省の取り組みや全国を取組状況などを紹介いただく。

③ 事例紹介 「空き家を活用した移住支援について」 40分

講師 高知県梶原町まちづくり産業推進課地域振興係 魚濱聡海 氏

趣旨 人口3,200人の町でH25～R5年移住者240人。町が主体で空き家改修・サブリース事業を展開。所有者負担なしで改修・耐震化・水洗化・税免除等の施策実施しており、取り組みをご紹介いただく。

④ 活動報告 「最上地域空き家活用促進協議会の取組み」 20分

報告者 最上総合支庁建設部建築課 永井智子 氏

一般社団法人 温故知新 八鍬淳 氏

### 5 参加者

地域住民、行政関係者、空き家所有者、宅建業者、商工会関係者 等

### 6 後援

国土交通省東北地方整備局、新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村